更新投資試算内訳

資料8－3

種類			一人あたり延床面積(m2)	人口（千人）	総量	単位	根拠	更新単価	単位	根拠	更新投資所要総額(10億円)	更新所要年	根拠	同左年平均(10億円)	現在の公共投資（GDP公的資本形成）10億円			現在実施している更新投資（10億円）			差し引き不足額(10億円)	不足額を加算した公共投資総額(10億円)	人口減少に比例して削減(10億円)			対策後差し引き不足額	対策後公共投資＋更新投資	PFI/PPPの対策効果 PFI／PPP化率	同PFI/PPP事業規模	VFM(率)	VFM（額）	差し引き不足分
公共施設（ハコもの）		国			49,689,000	m2	財務省国有財産調査行政財産合計(2009/3)																								
		公団公社等	0.5	127,510,000	63,755,000	m2	一人あたり延床面積は東京都・山本康友氏資料「公共施設における施設投資」(2008/.10)の「H14全国営繕課長会へのアンケート調査」を中津元次氏（中津FMコンサルティング代表）が編集した数字を使用。これに人口をかけて逆算した。																						
		都道府県	1.3	127,510,000	165,763,000	m2	同上																						
		市区町村	2.9	127,510,000	369,779,000	m2	同上																						
		小計			648,986,000	m2	上記合計にて算出。（参考）建築保全センター「自治体調査結果」(2009/12)では、都道府県1.31m2、政令指定都市3.00m2、東京特別区2.11m2、一般市3.85m2	270,000	円／m2	秦野市委員会資料（参考：狛江市、藤沢市の同種の検討では350千円／m2、秦野市の担当部局見積もりでは400千円／m2）（注2）	175,226	50	すべてを平均して50年とした	3,505																
道路	舗装済み車道のみ				4,107,323,420	m2	国土交通省道路統計（車道面積×簡易舗装を含む舗装率）(2009/3)	7,000	円／m2	秦野市委員会資料(表層アスファルト5cm路盤20cmの最低限の舗装替え工事)	28,751	15	耐用年数は10年だが実態を考慮	1,917																
橋りょう					677,792	箇所	国土交通省道路統計（15m未満を含む合計、9割が15m未満）(2009/3)	50,000,000	円／箇所	秦野市委員会資料（15m以上130百万円、15m以下50百万円）	33,890	50	すべてを平均して50年とした	678																
上水道	排水管のみ				569,608	km	厚生労働省水道統計（配水管延長）H19年度末	100,000,000	円／km	秦野市委員会資料	56,961	50	同上	1,139																
下水道	管きょのみ				417,217	km	国土交通省下水道統計（管きょ延長）H19年度末	100,000,000	円／km	秦野市委員会資料	41,722	50	同上	834																
その他	港湾、空港、都市公園、治水、海岸				今回非対象																								
	その他				今回非対象																								
合計											336,550			8,073			20,457	10%	(参考）平成17年度国土交通白書の更新投資比率最近5年間平均6%。秦野市最近5年間平均は5%。	2,046	6,027	26,484	15%	人口問題研究所中位推計による50年後の減少幅（▲30%）の平均とみた	3,973	2,054	22,511	46%	10,272	20.0%	2,054	0

すべての社会資本平均として15%減少と仮定している